

編集後記：2014年6月18日現在、観測出張のためグリーンランド北西部のカナックという町に滞在しています。6月9日から14日にかけては、グリーンランド氷床上のSIGMA (Snow Impurity and Glacial Microbe effects on abrupt warming in the Arctic) - A サイト (78°03'N, 67°38'W, 海拔1490 m) にキャンプを張り、気象・雪氷集中観測を実施しました。滞在中は、氷床上にブロッキング高気圧が停滞していて、その縁辺に位置する西岸域を低気圧が頻繁に北上して来ました。それに伴い天気崩れることが多かったのですが、気象研で運用しているグリーンランド領

域での気象庁非静力学モデル (JMA-NHM) の予報結果を参照することにより、行動計画を適切に定めることが出来ました。JMA-NHMの極域におけるパフォーマンスは、正直なところ、我々の想定以上のもので、良い意味で非常に驚きました。現場観測や学会などに参加していると、このような新鮮な気持ちを抱くことが多々あります。そのような感覚は、出来る限り多くの方々と共有することが理想的だと思います。編集委員として、「天気」を更に有意義な情報共有の場としていきたい、と気持ちを新たにしたいところでは、  
(庭野匡思)